

第 15 期  
報 告 書

(平成18年 2 月 1 日～平成19年 1 月31日)



株式会社ユークス

<http://www.yukes.co.jp>

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第15期（平成18年2月1日から平成19年1月31日まで）の事業の概況および決算の状況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、高水準な企業収益や設備投資の増加に支えられ、ゆるやかな景気拡大が続いております。

当社に関連するエンタテインメント業界におきましては、プレイステーション3と任天堂Wii（ウィー）が平成18年11月および同年12月にそれぞれ発売され、一昨年の年末に発売されたXbox 360とともに家庭用次世代ゲーム機が市場に出揃いました。また、ニンテンドーDSは、世代を問わず引き続き人気を集めており、ゲームソフト市場は需要が拡大しております。

このような状況のもと、当社のデジタルコンテンツ事業におきましては、ゲームソフト分野では、アメリカの人気プロレス団体WWE (World Wrestling Entertainment) をモデルにした当社の代表作であるスマックダウンシリーズの8作目「WWE SmackDown! VS Raw 2007」が発売され、前作を上回る好調な売上げを記録しました。

興行事業におきましては、新日本プロレスリング株式会社（以下、「新日本プロレス」）が年間を通して各種大会を開催しております。平成18年8月に両国国技館において開催した「G1 CLIMAX 2006 決勝戦」と平成19年1月に東京ドームにおいて開催した「レッスルキングダム IN 東京ドーム」は、当連結会計年度中に開催した2大イベントとなりました。

そして、当連結会計年度の経常利益は過去最高を更新し、事業は順調に推移しております。こうした中、平成17年11月に新日本プロレスの株式51.5%をアントニオ猪木氏より取得して以来、1年3ヶ月にわたり、同社の経営改善を図るべく尽力して参りました。

当連結会計年度におきましては、ロイヤリティ契約関係の精査および興行原価に対応する収益効果測定を行い、同社の経営改善計画の見直しを行いました。その結果、下期のみで見ますと、平成19年1月4日の東京ドーム興行の成功等により経常損益段階で黒字を達成し、当初想定しておりました経営改善計画を達成いたしました。

しかしながら、相次ぐ上場企業の財務情報に関する問題等から、グループ企業に対する評価実務は厳しさを増しており、当社の同社に対する投融資および連結財務諸表における「連結調整勘定」の評価に対して、より厳格な判断による監査法人の指摘を受けました。当社といたしましては、同社の経営改善計画は予定通り進捗しており、今後の収益獲得に貢献していくとの従来の判断に変更はありませんが、これらの監査法人の指摘を受け入れ、当連結会計年度において保守的に会計処理することが経営の不確実性を排除し、当社グループの財政状態の健全化に資すると判断し、個別財務諸表では、200,159千円の関係会社株式評価損および889,794千円の貸倒引当金繰入額を特別損失に計上するとともに、連結財務諸表では、連結調整勘定償却額1,036,350千円を特別損失に計上する

ことにいたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,812,079千円（前年同期比54.9%増）、経常利益814,409千円（前年同期比18.2%増）、当期純損失601,813千円となりました。

事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

（デジタルコンテンツ事業）

ゲームソフト分野では、スマックダウンシリーズの8作目「WWE SmackDown! VS Raw 2007」がプレイステーション2用、プレイステーションポータブル用およびXbox 360用として平成18年11月から北米をはじめ欧州、韓国等で順次発売されました。また、新日本プロレスをはじめ国内のプロレス団体が登場するプロレスゲーム「レッスルキングダム」のプレイステーション2用を同年7月に発売しました。プロレス以外のジャンルでは、日本マクドナルドとタイアップキャンペーンを行い、愛らしい魚眼の小犬キャラクタをモデルにした「THE DOG HAPPY LIFE～幸せワンコ生活第一弾～」をプレイステーションポータブル用として平成18年4月に発売しました。また、前事業年度に発売したプレイステーション2用ドリフトレースゲーム「D1 グランプリ2005」の英語版を北米において同年8月に発売しました。パチンコ・パチスロ分野におきましては、当連結会計年度において3タイトルの画像開発プロジェクトが終了しております。

以上の結果、デジタルコンテンツ事業の売上高は、3,445,735千円となりました。

（興行事業）

当連結会計年度中に開催したイベントのうち、新日本プロレス35周年記念大会として平成19年1月に東京ドームにおいて開催した「レッスルキングダム IN 東京ドーム」は大盛況となり、興行収益が大幅に改善されました。

また、新日本プロレスは、フィールズ株式会社（東京都渋谷区）との間で、パチンコ・パチスロ機に関して、“アントニオ猪木”こと猪木寛至氏に関する肖像権、著作権、パブリシティ権等の使用を独占的に許諾する契約を結びました。

以上の結果、興行事業の売上高は、1,539,640千円になりました。

当社は、新日本プロレスを当社グループの一員として、今後も存続させていく所存であります。株主の皆様ならびに関係諸団体の皆様方におかれましては、何卒、ご理解を賜り、引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

平成19年4月

代表取締役社長 谷 口 行 規

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度 末 (平成18年1月31日現在)	当 連 結 会 計 年 度 末 (平成19年1月31日現在)	科 目	前 連 結 会 計 年 度 末 (平成18年1月31日現在)	当 連 結 会 計 年 度 末 (平成19年1月31日現在)
( 資 産 の 部 )			( 負 債 の 部 )		
<b>流 動 資 産</b>	<b>2,823,825</b>	<b>2,492,157</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>2,280,756</b>	<b>1,835,405</b>
現金及び預金	115,505	115,334	買掛金	—	9,024
受取手形及び売掛金	1,898,901	1,143,885	未払金	434,370	377,089
棚卸資産	434,600	731,267	短期借入金	1,156,864	667,000
繰延税金資産	143,743	202,481	1年以内償還予定社債	40,000	—
その他	243,377	308,984	未払法人税等	315,740	441,394
貸倒引当金	△12,303	△9,795	前受金	247,537	244,822
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,928,659</b>	<b>841,656</b>	賞与引当金	73,824	82,307
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>375,520</b>	<b>377,935</b>	その他	12,420	13,767
建物及び構築物	54,378	59,505	<b>固 定 負 債</b>	<b>273,178</b>	<b>27,860</b>
土地	211,420	211,420	社債	60,000	—
その他	109,721	107,008	長期借入金	138,403	—
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>1,097,911</b>	<b>25,986</b>	繰延税金負債	964	325
連結調整勘定	1,062,923	—	退職給付引当金	73,811	27,535
その他	34,988	25,986	<b>負 債 合 計</b>	<b>2,553,934</b>	<b>1,863,266</b>
<b>投 資 其 他 の 資 産</b>	<b>455,226</b>	<b>437,734</b>	( 純 資 産 の 部 )		
投資有価証券	117,125	102,819	<b>株 主 資 本</b>	<b>2,178,477</b>	<b>1,463,449</b>
繰延税金資産	126,795	118,789	資本金	412,902	412,902
その他	211,305	216,125	資本剰余金	423,708	423,708
<b>資 産 合 計</b>	<b>4,752,484</b>	<b>3,333,813</b>	利益剰余金	1,575,640	865,108
			自己株式	△233,773	△238,268
			評価・換算差額等	20,072	7,098
			その他有価証券評価差額金	20,072	7,098
			<b>純 資 産 合 計</b>	<b>2,198,549</b>	<b>1,470,547</b>
			<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>4,752,484</b>	<b>3,333,813</b>

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 会社計算規則にもとづき統一表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(平成17年2月1日から 平成18年1月31日まで)	(平成18年2月1日から 平成19年1月31日まで)
売上高	3,107,192	4,812,079
売上原価	1,658,234	2,610,868
売上総利益	1,448,958	2,201,210
販売費及び一般管理費	917,236	1,573,827
営業利益	531,721	627,382
営業外収益	162,560	207,487
営業外費用	5,078	20,461
経常利益	689,204	814,409
特別利益	1,775	24,864
特別損失	600	1,037,754
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	690,379	△198,480
法人税、住民税及び事業税	325,963	445,872
法人税等調整額	△36,333	△42,539
当期純利益又は 当期純損失(△)	400,748	△601,813

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 会社計算規則にもとづき統一表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	(平成17年2月1日から 平成18年1月31日まで)	(平成18年2月1日から 平成19年1月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	△1,192,441	978,515
投資活動による キャッシュ・フロー	△730,199	△194,318
財務活動による キャッシュ・フロー	△961,584	△839,981
現金及び現金同等物に係る 換算差額	84,259	55,612
現金及び現金同等物の増 減額	△2,799,965	△171
現金及び現金同等物 期首残高	2,915,471	115,505
現金及び現金同等物 期末残高	115,505	115,334

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(平成18年2月1日から平成19年1月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
平成18年1月31日 残高	412,902	423,708	1,575,640	△233,773	2,178,477	20,072	20,072	2,198,549
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△107,150		△107,150			△107,150
当期純損失			△601,813		△601,813			△601,813
自己株式の取得				△14,661	△14,661			△14,661
自己株式の処分			△1,568	10,165	8,597			8,597
株主資本以外の項目の連 結会計年度中の変動額 (純額)						△12,974	△12,974	△12,974
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△710,532	△4,495	△715,027	△12,974	△12,974	△728,002
平成19年1月31日 残高	412,902	423,708	865,108	△238,268	1,463,449	7,098	7,098	1,470,547

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前事業年度末 (平成18年1月31日現在)	当事業年度末 (平成19年1月31日現在)	科 目	前事業年度末 (平成18年1月31日現在)	当事業年度末 (平成19年1月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>3,283,774</b>	<b>2,330,261</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,759,689</b>	<b>1,445,399</b>
現金及び預金	60,535	25,559	短期借入金	953,000	667,000
売掛金	1,813,686	1,039,892	未払金	246,384	173,883
棚卸資産	401,961	706,227	未払法人税等	311,150	433,660
短期貸付金	529,100	53,561	前受金	183,750	96,853
前渡金	131,918	52,605	賞与引当金	62,000	69,000
繰延税金資産	143,388	194,510	その他	3,405	5,002
その他	204,796	258,772	<b>固定負債</b>	<b>15,957</b>	<b>17,016</b>
貸倒引当金	△1,613	△867	退職給付引当金	15,957	17,016
<b>固定資産</b>	<b>706,784</b>	<b>699,533</b>	<b>負債合計</b>	<b>1,775,647</b>	<b>1,462,416</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>124,367</b>	<b>132,806</b>	<b>(純資産の部)</b>		
建物	36,373	44,464	<b>株主資本</b>	<b>2,194,838</b>	<b>1,560,280</b>
車両運搬具	1,617	1,137	資本金	412,902	412,902
工具器具備品	83,862	84,690	資本剰余金	423,708	423,708
土地	2,514	2,514	利益剰余金	1,591,861	961,939
<b>無形固定資産</b>	<b>29,346</b>	<b>21,083</b>	<b>自己株式</b>	<b>△233,633</b>	<b>△238,268</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>553,070</b>	<b>545,643</b>	評価・換算差額等	20,072	7,098
投資有価証券	117,125	102,819	その他有価証券評価差額金	20,072	7,098
関係会社株式	210,160	11,182	<b>純資産合計</b>	<b>2,214,910</b>	<b>1,567,378</b>
長期貸付金	—	1,080,540	<b>負債純資産合計</b>	<b>3,990,558</b>	<b>3,029,795</b>
長期前払費用	10,277	12,812			
差入保証金	88,660	110,746			
繰延税金資産	126,795	118,031			
その他	50	50			
貸倒引当金	—	△890,540			
<b>資産合計</b>	<b>3,990,558</b>	<b>3,029,795</b>			

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 会社計算規則にもとづき統一表示しております。

## 損益計算書

## 役員 (平成19年1月31日現在)

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
	(平成17年2月1日から 平成18年1月31日まで)	(平成18年2月1日から 平成19年1月31日まで)
売上高	2,957,166	3,266,817
売上原価	1,531,604	1,494,619
売上総利益	1,425,562	1,772,197
販売費及び一般管理費	911,309	996,928
営業利益	514,252	775,269
営業外収益	164,193	214,349
営業外費用	5,071	13,045
経常利益	673,374	976,573
特別利益	1,485	—
特別損失	60	1,090,670
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	674,798	△114,097
法人税、住民税及び事業税	323,381	438,302
法人税等調整額	△33,092	△33,526
当期純利益又は当期純損失(△)	384,509	△518,872

代表取締役社長 谷口行規  
 常務取締役 品治康隆  
 取締役 橋木孝志  
 監査役 前川健  
 監査役 木村行伸

(注) 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 会社計算規則にもとづき統一表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(平成18年2月1日から平成19年1月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年1月31日 残高	412,902	423,708	1,591,861	△233,633	2,194,838	20,072	20,072	2,214,910
事業年度中の変動額								
剰余金の配当			△107,206		△107,206			△107,206
当期純損失			△518,872		△518,872			△518,872
自己株式の取得				△14,661	△14,661			△14,661
自己株式の処分			△3,842	10,025	6,182			6,182
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						△12,974	△12,974	△12,974
事業年度中の変動額合計	—	—	△629,922	△4,635	△634,557	△12,974	△12,974	△647,532
平成19年1月31日 残高	412,902	423,708	961,939	△238,268	1,560,280	7,098	7,098	1,567,378

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の状況 (平成19年1月31日現在)

発行可能株式総数	44,360,000株
発行済株式の総数	11,096,000株
株主数	5,298名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
谷口行規	4,393	41.04
ティエイチキューインク	1,552	14.50
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,087	10.15
北口徳一	307	2.87
ドイチェバンクアーゲーロンドン ビービーノントリティークライアンツ	290	2.71
品治康隆	240	2.24
ユークス従業員持株会	239	2.23
シティグループグローバルマーケティング ツインク	194	1.81
橋木孝志	155	1.45
株式会社ジャフコ	128	1.20

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 当社は、自己株式389千株を保有しております。

## 会社概要 (平成19年1月31日現在)

社名	株式会社ユークス YUKE'S Co., Ltd.
本社	堺市堺区戎島町4丁45番地の1
横浜開発室	横浜市神奈川区金港町6番地6
代表取締役社長	谷口行規
創業	平成5年2月26日
資本金	4億1,290万円
従業員数	128人

(メ モ)

(メ モ)

## 株主メモ

---

- 事業年度 毎年2月1日から翌年1月31日
  - 定時株主総会 毎年4月に開催
  - 基準日
    - 定時株主総会 1月31日
    - 期末配当金 1月31日
    - 中間配当金 実施する場合は7月31日その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。
  - 株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
  - 同事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話（通話料無料）0120-094-777
  - 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店  
野村證券株式会社 全国本支店
- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
- 電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）  
0120-684-479（大阪証券代行部）
- インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 公告方法 日本経済新聞
  - 単元株式数 100株
  - 株主優待 1月31日現在の100株以上ご所有株主に対し、自社商品もしくは自社関連商品(3,000円相当)を贈呈いたします。
  - 上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所  
ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」